

PIANISTS 100

ピアノリスト100

音楽監督:中村絃子
彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

100人を聴く10年、ついにラストシーズンへ。

95/100 アンティ・シーララ (フィンランド) Antti Siirala

主要コンクールを制覇 国際舞台に躍り出た若手実力派



1979年ヘルシンキ生まれ。7歳でオーケストラと初共演し、数多くの国内音楽コンクールで入賞。近年、シベリウス・アカデミーでマッティ・ラエカリオ、イヴァリ・イルヤの各氏に師事。97年第10回ウーン・ベートーヴェン国際コンクールで最年少第1位、2003年にはAXAダブリン国際コンクール、リーズ国際コンクールで優勝。ソリストとして著名な指揮者と共演し、多くの音楽祭にも出演。またイギリス室内管弦楽団、ウーン室内管弦楽団、フィンランド放送交響楽団などに客演。

【日時】9月10日(日) 開演 15:00
【曲目】～オール・ベートーヴェン・プログラム～
ウラニツキーのバレエ《森の娘》のロシア変奏曲 由長調 Wo071
6つのバガテル op.126
ピアノ・ソナタ 第5番 ハ短調 op.10-1、ピアノ・ソナタ 第6番 へ長調 op.10-2
ピアノ・ソナタ 第7番 二長調 op.10-3 ★中村絃子音楽監督によるトーク付き
【チケット(税込)】一般 S席 3,000円 A席 2,000円 学生 S席 2,000円 A席 1,000円
メンバーズ S席 2,700円

96/100 シブリアン・カツァリス (フランス) Cyprien Katsaris

超絶技巧と独特の音楽性 個性溢れる伝説のピアニスト



1951年マルセイユ生まれ。4歳からピアノを学ぶ。パリ・コンセルヴァトワールを首席で卒業。70年チャイコフスキー国際、72年エリーザベト国際各コンクール入賞、74年シラ国際コンクール優勝。音楽院在学中から天才の誉れ高く、66年シャンゼリゼ劇場の公式デビュー以来、稀代のテクニシャンとして世界的に活躍。2000年フランス政府叙勲、01年パリ市バーミル・メダル受賞。ユネスコ平和アーティスト。

【日時】10月21日(土) 開演 16:00
【曲目】シューベルト:《3つのピアノ小品》D.946より 第1番 変ホ短調、第2番 変ホ長調
シューベルト=リスト:歌曲 セレナーデ、水車屋と小川、アヴェ・マリア
ハイドン:ピアノ・ソナタ へ長調 Hob.XVI-35
L.モーツァルト=キャメロン:おもちゃの交響曲
リスト=カツァリス:(2つのチャールダーシュ)より 第2曲<チャールダーシュ・オブスティネ>
ショパン:ワルツ イ短調 op.34-2、練習曲 ハ短調 op.25-12、
夜想曲 変ホ長調 op.9-2、幻想即興曲 嬰ハ短調 op.66、
子守歌 変二長調 op.57
J.S.バッハ=カツァリス:トッカータとフーガ ニ短調 BWV565
【チケット(税込)】一般 S席 5,000円 A席 4,000円 学生 S席 3,000円 A席 2,000円
メンバーズ S席 4,500円 A席 3,600円

97/100 キム・デジン (韓国) Kim Daejin

知的な演奏 指導者としても名高い韓国の重鎮



1985年第6回ロベール・カサドシュ(現クリューヴラント)国際ピアノコンクール優勝。86年ニューヨーク・デビュー。87年より国際的ソリストとして活躍。ジュリアード音楽院で修士・修士・博士号を修得。現在韓国国立芸術大学教授として国際コンクールで入賞者を数多く輩出。また国際コンクール審査員としても活躍。2002年韓国音楽協会より「ミュージシャン・オブ・ザ・イヤー」に選ばれ、韓国東亜日報より「韓国で最も有名なピアニスト」の称号を受ける。

【日時】11月19日(日) 開演 15:00
【曲目】ハイドン:ピアノ・ソナタ へ長調 Hob.XVI-48
プロコフィエフ:ピアノ・ソナタ 第6番 イ長調 op.82「戦争ソナタ」
ショパン:バラード 第1番 短調 op.23、バラード 第2番 へ長調 op.38
バラード 第3番 変イ長調 op.47、バラード 第4番 へ短調 op.52
【チケット(税込)】一般 S席 3,000円 A席 2,000円 学生 S席 2,000円 A席 1,000円
メンバーズ S席 2,700円

Coming Schedule チケット発売日

No.98～No.99 メンバーズ 9月9日(土) 一般 9月16日(土)

98/100 アルカディ・ヴォロドス (ロシア) Arcadi Volodos
驚異的・超人的なピアニズム 世界を席巻するヴィルトゥオーゾ
12月9日(土) 開演 16:00
◆曲目:シューベルト:楽興の時 op.94 D.780
シューベルト:ピアノ・ソナタ 第11番 へ短調 D.625
リスト:《巡礼の年 第1年 スイス》より<オーベルマンの谷>
《巡礼の年 第2年 イタリア》より<婚礼>
《伝説》より<アッシジの聖フランチェスコ:鳥への説教>
《詩的で宗教的な調べ》より<葬送>
★中村絃子音楽監督によるトーク付き
◆チケット(税込) 一般 S席 5,000円 A席 4,000円
学生 S席 3,000円 A席 2,000円
メンバーズ S席 4,500円 A席 3,600円

99/100 レイフ・オヴェ・アンズネス (ノルウェー) Leif Ove Andsnes
音楽への直截な情熱 傑出した存在感をもつ北欧の俊英
2007年2月10日(土) 開演 16:00
◆曲目:シベリウス:キュリツキー3つの抒情的小品 op.41
グリーグ:ノルウェー民謡による変奏曲形式のバラード短調 op.24
シェーンベルク:6つの小さなピアノ曲 op.19
ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ 第32番 へ短調 op.111
★中村絃子音楽監督によるトーク付き
◆チケット(税込) 一般 S席 4,000円 A席 3,000円
学生 S席 2,000円 A席 1,000円
メンバーズ S席 3,600円 A席 2,700円

～PICK UPでは紹介しきれなかった、公演情報～

CULTURE 9.9～

源氏語り54帖 罪の輪廻

若菜 下 二 六条院にとり残された女三宮に蹴鞠の日の垣間見以来想いを燃やし続けてきた柏木が接近し、思いを遂げた。その結果、女三宮は妊娠し、懐妊を不思議に思った光源氏は柏木の文を発見し、真相を知る。しかし、世間体を恐れて公表せず、ひそかに悩んでいた。密事発覚を知った女三宮も、柏木も怖れのあまり病に沈み、紫上も危篤状態を繰り返す、光源氏が行おうとした朱雀院五十賀は、十二月も押し詰まってようやく行われた。

柏木 柏木は光源氏に説かれたことで、病の床に沈み、命さえあやうくなった。女三宮は年が明けてすぐ男子を産んだが、光源氏の冷たさに将来を悲観して出家する。これを知った柏木は一層絶望し、親友夕霧に光源氏への謝罪と妻女二宮の行く末を託して亡くなった。光源氏は薫五十日の妻に、薫を抱きながら、その面差しに亡き柏木の面影を認め、息子を見ずに亡くなっていった柏木を哀悼し、自ら犯した昔の密通の罪を償おうとする。



◆第32回 若菜 下 ②(わかなげ②) 9月9日(土)
第33回 柏木(かしわぎ) 10月1日(日) 各回とも開演 14:00(開場 13:30)
◆彩の国さいたま芸術劇場 小ホール
◆出演:幸田弘子(朗読)、三田村雅子(解説/フェリス学院大学教授)
◆チケット(税込):全席指定 各回 2,500円

CINEMA 9.9 彩の国シネマスタジア

「パリ・ルーブル美術館の秘密」

美術品以外の撮影を許可しなかったルーブル美術館の舞台裏に初めてクルーが足を踏み入れた。所蔵品数約35万点。館内全てを覗き廻るのゆうに1週間かかるという世界最大の美術館。その巨大な美術館に生命の息吹を与えるのは素朴で魅力的な1,200名の専門家たち。作品の修復、巨大絵画の展示、作品をめぐる学芸員達の論争等々。愛と機知溢れる視点の感動ドキュメンタリー。監督は「僕の好きな先生」のニコラ・フィリベール。



◆9月9日(土) 10:00/13:00/16:00/19:00 ◆彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール
◆監督:ニコラ・フィリベール(1990年 フランス 85分)
◆チケット(税込):全席自由 前売 一般 1,000円 小中高生800円 当日 各200円増
◆発売日:7月22日(土)

CINEMA 9.29 彩の国シネマスタジア

「砂の器」

迷宮入りと思われた蒲田操車場殺人事件。捜査を担当する警視庁刑事・今西と西浦田署刑事・吉村は、「東北弁のカメタ」という言葉を手がかりに東奔西走、犯人に肉薄した。そこで二人が見たものは...。1974年に公開され、社会派サスペンスの最高傑作と評された『砂の器』。あの演奏会場のシーンは埼玉会館で撮影されました。彩の国シネマスタジア第20回を記念しての登場です。撮影監督の川又昂氏によるアフタートークも必聴です。



◆9月29日(金) 10:30/14:00/18:30 ※14:00上映回終了後、ゲストトークあり ◆埼玉会館 小ホール
◆監督:野村芳太郎 原作:松本清張 脚本:橋本忍、山田洋次 音楽監督:芥川也寸志
◆出演:丹波哲郎、加藤剛、森田健作、島田陽子、緒方拳 ほか(1974年 松竹 デジタルリマスター版 143分)
◆チケット(税込):全席自由 前売 一般 1,000円 小中高生800円 当日 各200円増
◆発売日:7月22日(土)

PLAY 10.21 彩の国さいたま寄席 四季亭享

三遊亭小遊三

落語ファンの待望、半年ぶりとなる彩の国さいたま寄席に登場するのは、笑点の大喜利でもおなじみの三遊亭小遊三師匠です。21歳で三代目 三遊亭遊三師匠に入門。昭和58年3月、真打昇進。山梨生まれの江戸前男。長屋物など軽くて勢いのいい滑稽話が得意ネタで、咳呵の切れの良さは現役ナンバーワンとも言われる師匠の高座から、どんな囃子が飛び出すか、えうご期待。



◆10月21日(土) 開演 16:00
◆彩の国さいたま芸術劇場 小ホール ◆三遊亭小遊三、三遊亭遊馬 ほか
◆チケット(税込):一般 3,000円 メンバーズ 2,700円 ゆうゆう割引(学生・65歳以上)2,000円
◆発売日:メンバーズ 7月22日(土) 一般 7月29日(土)

CINEMA 10.29 彩の国シネマスタジア

長編オペラ映画「魔笛」

溢れる才能に神も嫉妬したと言われる天才モーツァルト。そのモーツァルトが最後に書いたオペラであり、彼の音楽の集大成といわれる名作。古代エジプトを舞台に、魔法の笛と心を打つ数々のアリアに導かれながら、主人公たちは不思議なメルヘンの世界へと迷い込んでいく。天才モーツァルトが生前最も愛したオペラと言われる、時代を超えて世界中のファンに愛され続けてきたオペラの宝石。この映画を観た後は、きっとモーツァルトが好きになる...



◆10月29日(日) 11:00/15:00 ◆彩の国さいたま芸術劇場 大ホール
◆作曲:W.A.モーツァルト 監督:イングマル・ベルイマン 指揮:エリック・エリクソン
歌手:タミーノ ヨーゼフ・ケストリンガー(テノール)/パミーナ イルマ・ウツリラ(ソプラノ)
パパゲーノ ホーカン・ハーゲゴード(バリトン)/夜の女王 ビルギット・ノールディン(ソプラノ)
1975年製作/スウェーデン映画/2時間15分/スウェーデン語版(日本語字幕)
◆チケット(税込):全席自由 前売 2,300円 当日 2,500円 メンバーズ 2,000円 団体(6名様以上) 2,000円
◆発売中

CINEMA 11.11 彩の国シネマスタジア

「博士の愛した数式」

「ぼくの記憶は80分しかもない...」不慮の交通事故により80分しか記憶の持たない天才数学者博士、そのもとで働きはじめた家政婦。やがて、幼いころから母親と二人っきりで暮らしている10歳の息子も博士のもとへ通うようになる。博士は息子をルート(√)と呼んだ。「どんな数字でも嫌がらずに自分の中にかくまってやる。実に寛大な記号、ルートだよ。」数式に秘められた美しい言葉の意味。深く静かな感動が心に広がる現代の名作。



◆11月11日(土) 10:00/12:45/16:00/18:45 ※12:45上映回終了後、ゲストトークあり
◆彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール ◆監督:小泉堯史 原作:小川洋子 音楽:加古隆
◆出演:寺尾聰、深津絵里、齋藤隆成、吉岡秀隆、浅丘ルリ子ほか(2005年 アスミック・エース 117分)
◆チケット(税込):全席自由 前売 一般 1,000円 小中高生800円 当日 各200円増
◆発売日:8月5日(土)

MUSIC 12.3

「小山実稚恵 ピアノトリオ 夢の響演」

彩の国さいたま芸術劇場での2月のリサイタルや、埼玉会館での5月のモスクワ放送交響楽団との共演が記憶に新しい小山実稚恵さん。12月には、当劇場では4年ぶりに、ヴァイオリンの堀米ゆず子さんと、チェロの堤剛さんとともに登場します。“華麗なる音の響演”ともいうべき、夢のような組み合わせでのピアノトリオ。しかも、ベートーヴェンとチャイコフスキーの名曲中の名曲によるプログラムです。どうぞお聴き逃しなく!



◆12月3日(日) 開演 15:00 ◆彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
◆小山実稚恵(ピアノ) 堤剛(チェロ) 堀米ゆず子(ヴァイオリン)
◆曲目:ベートーヴェン ピアノ三重奏曲 第7番 変ロ長調 op.97「大公」
チャイコフスキー ピアノ三重奏曲 イ短調 op.50「偉大な芸術家の思い出に」
◆チケット(税込):一般 S席 4,000円 A席 3,000円 学生席 1,000円
メンバーズ S席 3,600円 A席 2,700円
◆発売日:メンバーズ 9月30日(土) 一般 10月7日(土)

MUSIC 12.16

バッハ・コレギウム・ジャパン モーツァルト《レクイエム》

彩の国さいたま芸術劇場でも数々の名演で知られるバッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)。ビリオド奏法(作曲家が生きた時代の様式にのっとった演奏法)の演奏団体として日本が世界に誇るBCJが、初めてモーツァルト作品を取り上げることも注目を集めます。モーツァルト生誕250周年の2006年、オール・モーツァルト・プログラムに幕を開けた彩の国さいたま芸術劇場音楽公演を締めくくりに相応しいこの公演。日本の音楽界のなかでもモーツァルト・イヤーの白眉といっても過言ではないでしょう。



◆12月16日(土) 開演 16:00 ◆彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
◆曲目:モーツァルト:証聖者の荘厳な晩課「ヴェスプレ」 へ長調 K.339
モーツァルト:レクイエム ニ短調 K.626
◆出演:鈴木雅明(指揮)、森 麻季(ソプラノ)、マリアンネ・ベアーテ・キヤラント(アルト)、アンドレアス・ヴェラー(テノール)、ドミニク・ヴェルナー(バス)、
バッハ・コレギウム・ジャパン(合唱と管弦楽)
◆チケット(税込):一般 S席 8,000円 A席 7,000円 学生席 2,000円
メンバーズ S席 7,200円 A席 6,300円
◆発売日:メンバーズ 9月2日(土) 一般 9月9日(土)

● 蜷川幸雄公開対談 ● 「NINAGAWA 千の目」第4回

映画監督 是枝裕和 × 作曲家 笠松泰洋 × 演出家 蜷川幸雄

【日時】7月23日(日) 13:30～
【会場】彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール
【定員】150名
※メンバーズの方以外の募集期間は終了しております。

一昨年のカンヌ国際映画祭を賑わした『誰も知らない』や現在公開中の『花よりもなほ』の監督で知られる是枝裕和さんと、『タイタス・アンドロニカス』『グリークス』など数多くの蜷川作品の音楽を提供する作曲家、笠松泰洋さんを迎えての公開トークです。

是枝裕和

笠松泰洋